

メバル公園活力倍増プロジェクト

第2回 青果市場の移転に向けた懇話会

議事録等

■開催日時・場所

令和7年5月26日（月） 午後3時から午後4時10分まで
防府市役所本館3階共用会議室3A・3B

■次第

- 1 開会
- 2 協議事項
新たな青果市場の方向性について
- 3 その他

■資料等

- ・資料1：第1回青果市場の移転に向けた懇話会（R7.4.23）委員発言概要
- ・資料2：地方創生を担う拠点整備の方向性（案）
- ・資料3：地方創生を担う拠点整備イメージ（案）

■出席者名簿（敬称略・令和7年5月26日時点）

【区分】	【所属団体名】	【氏名】
会長	防府市産業振興部	本間 良寛
委員	山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課	竹本 浩二
〃	山口県漁業協同組合吉佐統括支店	中島 均
〃	山口県農業協同組合防府とくち統括本部	長田 健
〃	防府青果買受人組合	岩川 博
〃	防府市蔬菜出荷組合	荒瀬 正則
〃	防府商工会議所	中司 正樹
〃	防府消費生活研究会	阿部 幹恵

■傍聴人：2人

■会議録

1 開会

2 協議事項

会議の公開について

- ・ 本日の会議は公開とする。 ⇒異議なし。

会議の記録について

- ・ 会議で出された意見等の概要は、会議終了後、事務局で整理したものを各委員に確認後に、会議の要旨を市ホームページで公表する。
⇒異議なし。

新たな青果市場の方向性について

- ・ 協議事項について事務局より資料を用いて説明。

資料内容についての質疑応答

【A委員】

- ・ 青果市場整備スペースにある多目的スペースとは、会議室等を示しているのか。
- ・ バックヤードとして候補地に挙がっている潮彩市場防府の（北側の）通路側にはキュービクル等が設置してあるので、ここの使用が可能か、十分精査をお願いしたい。
- ・ 市にしてみれば予算的な制約もあると思うが、本日はそういうことを抜きにして発言しても良いか。
- ・ 県漁協の計画では5年に1回ぐらいの割合で、県豊魚祭が当地区で実施されることとなっている。現在、イベント時には魚市場跡地を利用しているので、引き続き利用できるように調整をお願いしたい。

【事務局】

- ・ 多目的スペースは、社会見学や会議室など、地方創生に繋がるスペースを想定している。
- ・ キュービクルについては、保冷庫の数が多くなるので、現在の容量では足りないと聞いている。この場所は設計段階で具体的にバックヤードとして使用できるか検討したい。
- ・ 本日は様々な意見があると思うので、できる範囲での対応になると思うが、予算的な制約は抜きにしてお聞きしたいと思う。

【B委員】

- ・ 現在の青果市場は、人口が14万人に増える前提で大きく建設されている。当時はバブル崩壊前で景気が良く、買受人も多く、物流にしても動きが活発だった。現在は、米でも農家から直接仕入れるという動きになり、米の相場も安定しない時代になっている。野菜にしても、(以前は)市場で買受人を通じて店頭で並んでいたが、直売所等、流通がかなり変わってきている状況であり、生産者も高齢化が進み、将来的に生産者の数も減っていくような状況である。
- ・ 買受人も、小さいお店で経営を成り立てるのが難しく、量販店や大きなスーパーが、直接、産地から引き込んで安く売る形になっている。
- ・ 青果市場については、面積的には小さくなるようだが、これを有効に利用するためには、この拠点としての取扱数量や取扱金額に関する目標を立てて、青果市場と魚市場の経営を安定して続けていく、あるいは伸ばせる方向で、取り組んでいく必要がある。これから話を進める上で、目標となる数字を上げるということも必要ではないかと思う。

【事務局】

- ・ 他の自治体の基本構想を参考に、目標数値的なものも検討していきたい。今は現青果市場建設時と比べ、取扱数量が4分の1となっている状況も考慮したい。

【C委員】

- ・ 農家の中でも女性が、青果市場で一生懸命野菜を使った料理を作られて、PRするために市広報に掲載するなどしているが、防府市内では加工所が不足していると思う。他市などでは野菜の加工品やお弁当を作られている方も多いが、防府では加工したりする農家が少なくなっている中、長門にある「ながとらボ」のような、加工と生産ができる場所があると良いと思うので、そのような場所を作っていただきたい。唐戸市場の2階には、ガラス張りで、農家が加工等している姿がみえる調理室のような場所がある。そういう体験ができる場所などがあるとよい。
- ・ セリ落とされた野菜をその場で買えるような、来たついでに買おうと思ってもらえる場所がほしい。小さなお店で良いと思うので作ってほしい。
- ・ トレーラーなどの大型車両がどれぐらい通行するのか不明だが、入口から海沿いの岸壁の方へ向かった際に曲がれるのかが気になったので伝えておきたい。

【事務局】

- ・ 一次産業の拠点として、そこで魚と野菜と一緒に食べられることが一番大きな魅力と考えている。現状の規模と機能を整理し、できる限り検討する。
- ・ トラックについては、大きなものでも10トン車であり、転回するのに十分なスペースがあると考えている。以前にA委員からも場内のグレーチングが弱いと聞いているので工事等で対応したい。

【A委員】

- ・ 全体的に物流車両と一般車両、そして歩行者の動線がどのように重なるのか気になるので、物流車両の交通量を基本構想策定の段階で、資料として出していただきたい。資料を見ることによって、市民の方も安心すると思う。
- ・ トラックの動線に当たるところは補強をお願いしたい。

【D委員】

- ・ 青果と水産が一緒になっている市場は県内では岩国市場があるが、現状はどうなっているのか。
- ・ 青果市場の買受人組合は、令和元年には233事業者あったが、今は40事業者を下回っている。実際に今は青果市場の取引の大部分が相対取引であり、入荷量は令和2年度と令和6年度を比較した場合、40%減ぐらいになっている。ただ、金額は単価が上昇しているので遜色ない状況である。
- ・ 生産者や買受人組合員が、新しい場所に移転することによって、どのぐらいの割合で、引き継いでこられるかも未知数である。現状として、買受人組合、生産者も含めてほとんどが前期高齢者であり、買受人組合は後期高齢者に近い年齢になっている。今の新しい市場になったときに、夏場は良いが、冬場になると海際はちょっと怖いという話は聞いている。
- ・ 買受人組合の事務所が今はない状態なので、組合の事務所があれば良いと思っている。
- ・ 青果市場は公設だが、水産市場は公設ではないので、共有部分について住み分けがうまくいけば良いと思っている。1つの共同体として水産市場へも補助をすると良いのではないか。
- ・ 今は物流車両のバックヤードがあるが、新しい場所で一般車両が（市場スペースに）入ってこないかは不安である。一方通行になると、外に出ると逆走はできないので、何か用事がある場合は、もう1回、ぐるっと回っていくという形になる。そのことは今後の課題である。

【事務局】

- ・ 他市の市場の状況については、周南市や岩国市も取扱数量が減少していて、関連事業者用のスペースもほとんど空いている状況であった。取扱数量と比べて、施設が広すぎるという状況は防府市と同様である。
- ・ 周南市、岩国市も市場が海の近くにあり、前例があるので問題ないと考えている。
- ・ 現在は平成元年時に比べ、相対取引が多くなっているが、新しい市場が盛り上がるよう、卸売事業者と協議を進めていきたいと考えている。
- ・ 県漁協の水産市場と公設の青果市場が、相乗効果で両方の市場がうまく運営できるよう市としても協力しながら進めていきたい。
- ・ 車両については、実際、土日と平日では利用状況がかなり違うので、歩行者の方の安全確保を前提に、曜日によって変えていくという運用、臨機応変という対応も考えられるのではないかと考えている。

【C委員】

- ・ 駐車場については、車両の動線をきちんと決めてもらい、臨機応変に動線を変更することは、来場者が迷うことになるのでやめた方が良い気がする。平日でも夏休み等がある。

【E委員】

- ・ 予算の範囲内の対応ということで個人的な意見である。これまでの話には賛成だが、一般車両と物流車両が混在することは危険な感じがするので、現在一般車両が入っている駐車場を物流車両専用にしてはどうかというところもある。一般車両は西側の大駐車場を利用し、緑地を通過してメバル公園に行ってもらおう形もあると思う。
- ・ メバル公園は子育てのエリア、それに防災エリアという面もある。防災面もリンクする形で基本構想の中に入れたほうが良いのではないかな。
- ・ 先日青果市場へ行ったときに、保冷庫がかなり広い面積であった、バックヤードもかなり広い面積であったので、やはり現在の一般車両の駐車場を使うしかないと感じたところである。
- ・ 予算もあるので対応できるのであればだが、一次産業の拠点ということで、肉についても扱うことを考慮してみてもどうか。肉の保冷庫も必要だが、一次産業全体で相乗効果を図りながら、このエリアをつくっていくという感じの構想で、広めに検討していただけたらと思う。

【事務局】

- ・ 来場者の利便性を考慮すれば、現在の一般車両の駐車スペースは必要ではないかと考えているが、検討する。
- ・ 防災の面は、メバル公園の部分も含めて検討してほしいということだろうか。

【E委員】

- ・ 防災の拠点という観点も青果市場の整備の中に入るのかなということもあり、会議室が一時的な避難所になることも考えてみてはどうかと思う。

【事務局】

- ・ 防災の観点、また、昨年度開催した懇話会において、一次産業の拠点ということで肉も扱うという意見もあった。検討していきたいと思う。

【F委員】

- ・ やはり野菜に関しては潮風への対策が必要である。以前、カーテン等をつけるということも聞いたが、ある程度雨風が強いときでも出荷できる対策が必要である。全集荷して、ダンボールに詰め持たせてこられることもある。ダンボールに機密性はなく、どうしても野菜等は塩をかぶってしまう

うと出荷物として販売できなくなるので対策が必要である。本当に海が近くで、目に見えない潮風もあると思うので、まずは対策をしっかりとっていただきたい。

- ・ 出荷のことだが、雨の日でも軽バン等で出荷されるので、真ん中の通路を使うなど、荷下しの箱が濡れることがないようにしていただきたい。また、高齢者もいるので、重い野菜の荷下ろしの効率も考えていただければと思う。
- ・ 西側の駐車場が常時開放ということになると、大型トラックが夜に来て、(施設に) 近いところに駐車してそのまま休憩してしまう可能性もあると思うので、来場者の利便性を考える必要がある。

【事務局】

- ・ 潮風への対応については、壁を閉じるなどを検討する。また、荷下ろしの車両の通行についても考えていきたい。駐車場については、トラックの運転手が夜を過ごすことが道の駅本来の姿でもあるので、線を引き直すなど、大型車両を誘導したいと考えている。市場の構造については、関係者の意見を聞いていきたいと思う。

【F委員】

- ・ 事務局の説明で概ね異論等はない。
- ・ メバル公園の利用の関係で、子育て世代の方からだが、怖くてベビーカーを押して潮彩市場に行けないという声を聞いたので、歩行者同様にベビーカー利用者の安全も検討していただきたい。

【事務局】

- ・ 交通の動線の確保が一番大切なことであり、難しい問題でもあるので考えていきたい。
- ・ トラックについては委員の皆様が思っておられるほど多くなく、実際に2月20日から25日まで調査してみたが、トラックは1時間に2台程度、10トンクラスは1日に1回か2回である。そういったことも考慮しながら検討を進めたい。

【A委員】

- ・ 魚市場跡地の一部はバックヤードとして活用しているので、工事の過程の中で、どこに何を置いていくかという順番などは十分検討の上、進めていただきたい。

【会長】

- ・ 本日は動線の確保と施設の整備についての意見が多かったと思う。次回は、意見を参考に、事務局が基本構想の案を作成し、皆様に示す予定と聞いている。基本構想の骨子の部分は、概ね異論がないようだったので、こちらに肉付けしたものを次回は示したい。

【事務局】

- ・ 本日は、貴重な意見をいただき誠にありがとうございます。次回の会議では本日の意見を参考にしながら予算の方もある程度踏まえて基本構想の案を作成し、意見をいただきたい。